

## ハット型鋼矢板900工法の採用によりコスト削減

工事名： H 1 6 中瀬一丁目低水護岸災害復旧工事

概要： (従来)

広幅鋼矢板工法

(新)

ハット型鋼矢板900工法

効果：

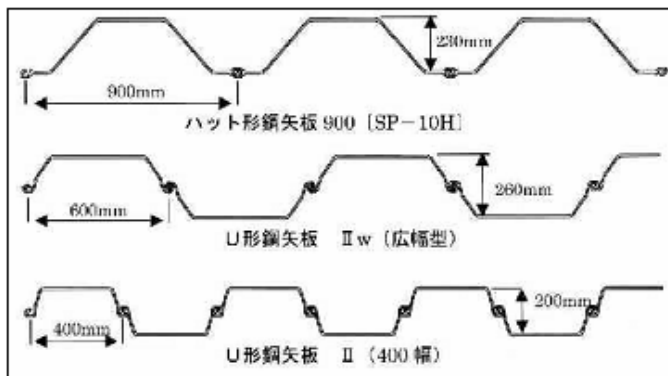
1．従来製品（有効幅600mm）と比較し、有効幅が900mmと拡幅されている為、使用枚数が2/3に減少し、施工の省力化がなされ、工期短縮が可能となる。

2．断面寸法諸元の改良により、断面性能が向上し、従来鋼重が低減され、材料費の削減が図られる。

2.1 3百万円から 1.7 7百万円に削減。

( 削減額 0.3 6百万円、削減率 約 16.9% )

従来製品との比較



ハット型鋼矢板900



専用チャック

